

## 「2018年卒マイナビ大学生就職内定率調査」を発表 ～ 大学生、大学院生の4月の内々定率は前年同月比4.1pt増の23.0% ～

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、2018年卒業予定の全国大学生、大学院生を対象とした「2018年卒マイナビ大学生就職内定率調査」の結果を発表しました。本調査は、幅広い層の学生から内定率を調査することを目的として、2010年3月より開始し、今年で8年目となります。調査結果の概要は以下の通りです。

### <調査結果の概要>

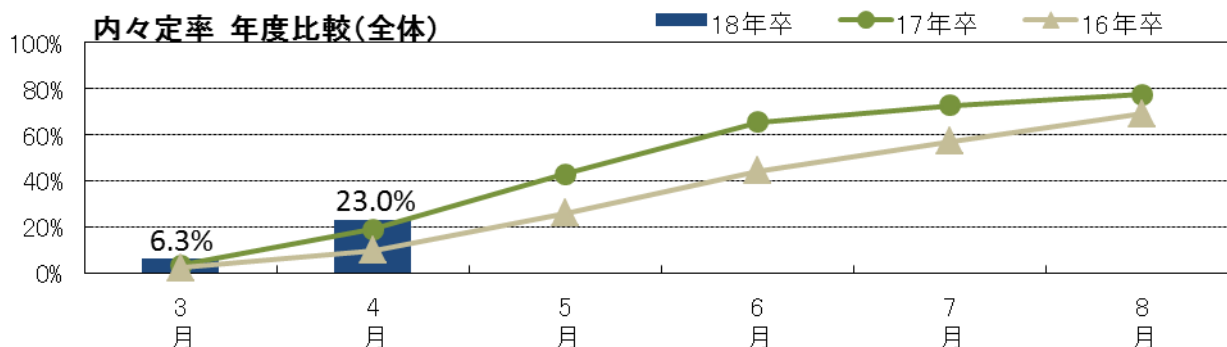
#### ■ 2018年卒業予定大学生、大学院生の4月の内々定率は前年同月比4.1pt増の23.0%

2018年卒学生の4月末時点の内々定率は、前年同月比4.1pt増の23.0%（2017年卒4月：18.9%）で、前月と比べると16.7ptの増加となった（2018年卒3月：6.3%）。平均内々定保有社数は1.4社で前年同月から微増（0.1社）した。また、内々定を複数企業から受けている学生の割合は28.0%と、前年同月から4.2pt増加した。

文理男女別では、理系男子が28.4%で最多となり、理系女子が25.9%と続いた。一方、文系男子は22.2%、文系女子は18.1%だった。なお、理系学部・院生区分では、理系学部生が27.6%、理系院生が26.7%という結果で、いずれも全体の内定率（23.0%）を上回っている。

未内定者を含めた「就職活動を継続する学生の割合」は94.0%（未内定者：77.0%+内々定を保有したまま活動継続：17.0%<sup>\*1</sup>）となり、内々定を保有しながら活動を継続している学生も多い。一方で、理系男子の内々定者のみで見ると、「内々定先に満足したので終了する」が前月比17.2pt増の38.8%、「内々定先に不満はないが、他の企業も見たいので続行する」が前月比20.8pt減の41.3%と、活動を終える学生が増加している。

\*1:内々定を保有したまま活動を継続する学生の割合は、内々定率23.0%に今後も活動を継続すると回答した学生の割合74.1%（内々定先に不満なので続行する：20.4%+内々定先に不満ではないが他の企業も見たいので続行する：53.7%）を掛け合わせて算出している。



#### 「2018年卒マイナビ大学生就職内定率調査」調査概要

【調査方法】 『マイナビ2018』の会員に対するWEBアンケート

【調査期間】 2017年4月24日（月）～4月30日（日）

【調査対象】 2018年3月卒業見込みの全国の大学4年生、大学院2年生

【有効回答数】 9,248名（文系男子1,723名、文系女子4,407名、理系男子1,681名、理系女子1,437名）

※調査結果の詳細は「新卒採用サポネット」(<http://saponet.mynavi.jp>)で公開しています

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社マイナビ  
社長室 HRリサーチ部 栗田  
Tel：03-6267-4571 Fax：03-6267-4145  
Email：[hrrc@mynavi.jp](mailto:hrrc@mynavi.jp)

当社に関するお問い合わせ先  
株式会社マイナビ  
社長室 広報部 渡邊  
Tel：03-6267-4155 Fax：03-6267-4050  
Email：[koho@mynavi.jp](mailto:koho@mynavi.jp)